



咽頭結膜熱に注意！ 手をよく洗いましょう！

令和5年11月15日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

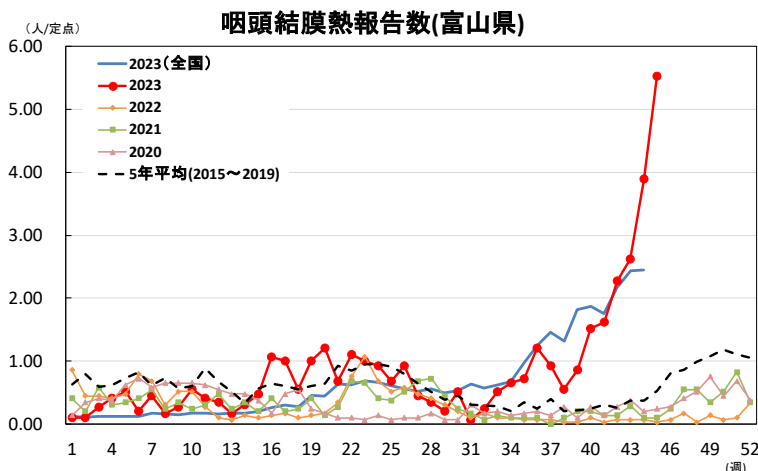
感染症発生動向速報

(令和5年第45週分・11月6日～11月12日)

《インフォメーション》

●咽頭結膜熱(プール熱)

今週、県内の咽頭結膜熱の患者報告数は5.52人/定点となり、先週(3.90)からさらに増加しました(図赤線)。第44週に「警報レベル」の開始基準値である3.0人/定点を超えたため、富山県は11月8日に咽頭結膜熱に関する注意喚起を発表しました(富山県/咽頭結膜熱に関する注意喚起について (pref.toyama.jp))。厚生センター・保健所別に見ると、高岡管内では13.63人/定点、富山市管内では4.10人/定点と多くなっています。一方、砺波、中部管内では増加傾向が認められません。患者の年齢分布は、1～6歳の年齢が約93%を占め、保育施設や幼稚園での感染拡大が考えられます。例年とは異なる時期の流行に、今後も注意が必要です。



咽頭結膜熱は、主にアデノウイルスによる急性感染症で、小児に多い疾患です。5～7日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血といった症状が3～5日間程度持続します。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれます。一般的には夏季に流行が見られる感染症ですが、近年は冬季にも流行が見られるようになり、1年を通して注意が必要です。

アデノウイルスは感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ✓ 流行時には石鹸と流水で手を洗う頻度を高める。
- ✓ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は行わない。
- ✓ おもちゃや食器等を消毒する際には、アルコールは効きにくいいため煮沸や塩素消毒等を行う。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 3件 (①第44週診断分：70歳代、女性 ②30歳代、男性 ③60歳代、男性)
 四類感染症 つつが虫病 1件 (30歳代、女性)
 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	10.27 (↑)	8.54
2位	咽頭結膜熱	5.52 (↑)	3.90
3位	感染性胃腸炎	4.03 (↑)	2.59
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.52 (↓)	3.79
5位	COVID-19	2.08 (↓)	2.21
6位	手足口病	1.41 (↓)	1.55



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第45週 令和5年11月6日～令和5年11月12日）

分類	疾患	今週報告分（第45週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核				2	2	5	6	24	7	61	103		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症						1		3	3	16	23		
	四類感染症	オウム病									1			1	
		つつが虫病					1	1					1	1	
		日本紅斑熱											1	1	
		レジオネラ症							4	1	15	1	11	32	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	12	25	
		急性脳炎										1	2	3	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	5	12	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	8	12	
		侵襲性肺炎球菌感染症				1		1			2	5	3	12	22
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒										3	3	14	20
		播種性クリプトコックス症							1						1
		破傷風										1			1
		百日咳											4		4
	定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	35	18	134	99	207	493	933	1,480	4,000	1,410	5,366	13,189
COVID-19（※1）			22	7	32	22	17	100	1,775	1,118	3,154	1,568	2,878	10,493	
			3.14	1.40	2.46	3.14	1.06	2.08							
小児科定点（29定点）		RSウイルス感染症	1					1	81	121	651	259	591	1,703	
			0.25					0.03							
		咽頭結膜熱	9	1	109		41	160	100	55	620	46	330	1,151	
			2.25	0.33	13.63		4.10	5.52							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	40	6	50	102	86	36	1,176	37	1,061	2,396	
			0.75	1.00	5.00	1.50	5.00	3.52							
		感染性胃腸炎	14	11	11	4	77	117	867	810	1,377	959	4,761	8,774	
			3.50	3.67	1.38	1.00	7.70	4.03							
		水痘		1				1	4	22	43	6	58	133	
				0.33				0.03							
		手足口病	2	6	25	3	5	41	58	112	494	203	355	1,222	
			0.50	2.00	3.13	0.75	0.50	1.41							
伝染性紅斑								1		2		6	9		
突発性発しん				4		1	5	15	31	117	31	85	279		
				0.50		0.10	0.17								
ヘルパンギーナ		2		1		4	7	123	143	817	104	575	1,762		
	0.50		0.13		0.40	0.24									
流行性耳下腺炎							1	2	11	4	15	33			
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎	1					1	1					1		
		1.00					0.14								
	流行性角結膜炎	1			1		2	5	2	34	3	9	53		
		1.00			1.00		0.29								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎				1		1				2	1	3		
					1.00		0.20								
	マイコプラズマ肺炎									8			8		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	1	2		2		5	1	2	4	4	5	16		
	COVID-19による入院患者（※3）	3				12	15	13	39	10	27	67	156		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

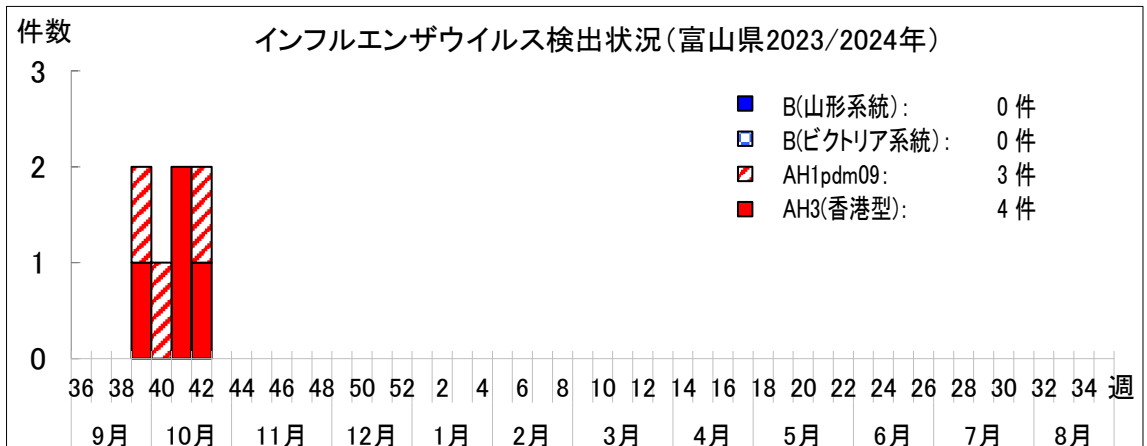
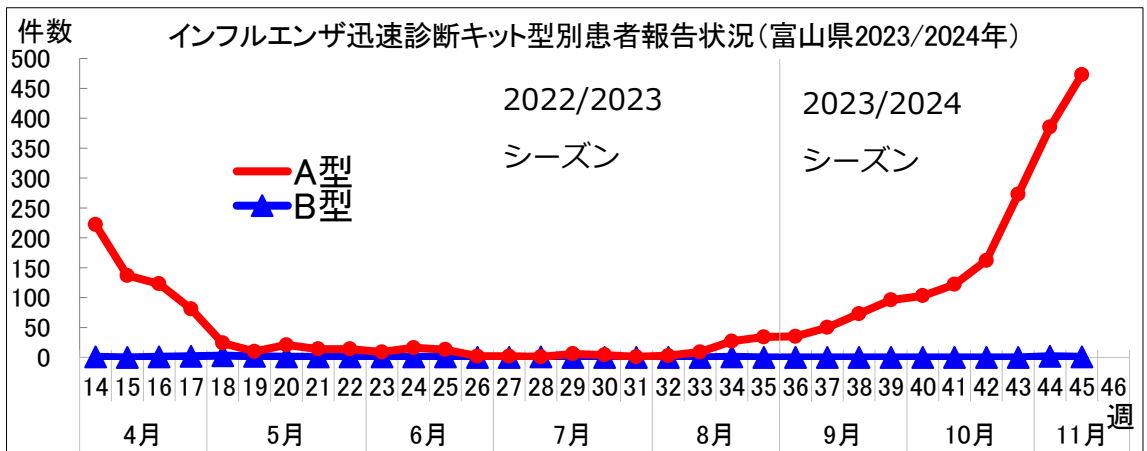
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が95.9%となっています。

第45週(11/6～11/12)：富山県 10.27人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	35	0	0	35
中部	5 / 5	14	0	4	18
高岡	12 / 13	134	0	0	134
砺波	7 / 7	97	0	2	99
富山市	13 / 16	193	1	13	207
富山県	41 / 48 ^{※1}	473	1	19	493
富山県累計(2023年36週～)		1,772	3	56	1,831

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が41か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



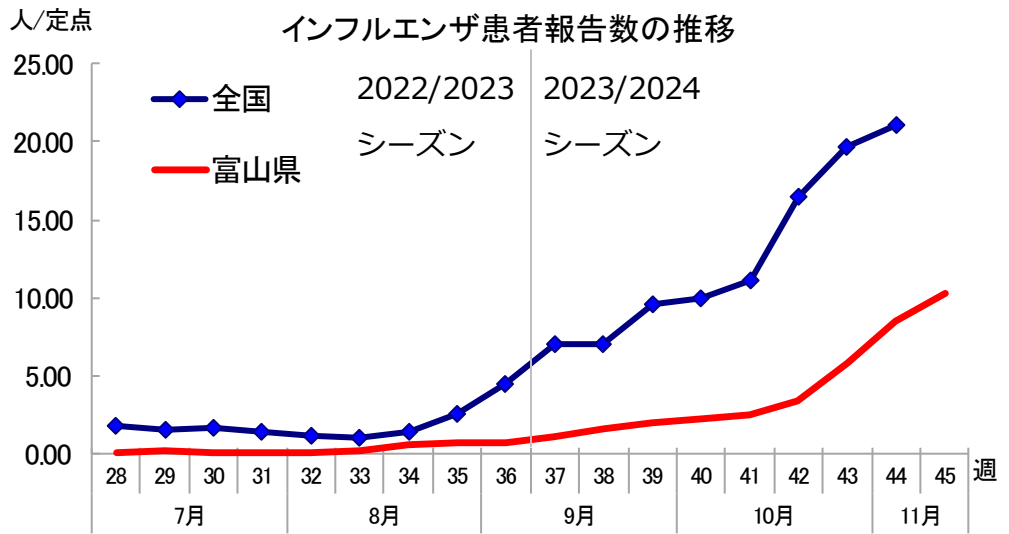


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 45 週 (11/6~11/12) : 富山県 10.27 人/定点

新川 HC (5.00)、中部 HC (3.60)、高岡 HC (10.31)、砺波 HC (14.14)、富山市 HC (12.94)

全国のインフルエンザ患者報告数は、21.13 人/定点となり、前週と比較して増加しています。県内の患者報告数は 10.27 人/定点となり、注意報レベルの目安としている 10 人/定点を超えました。



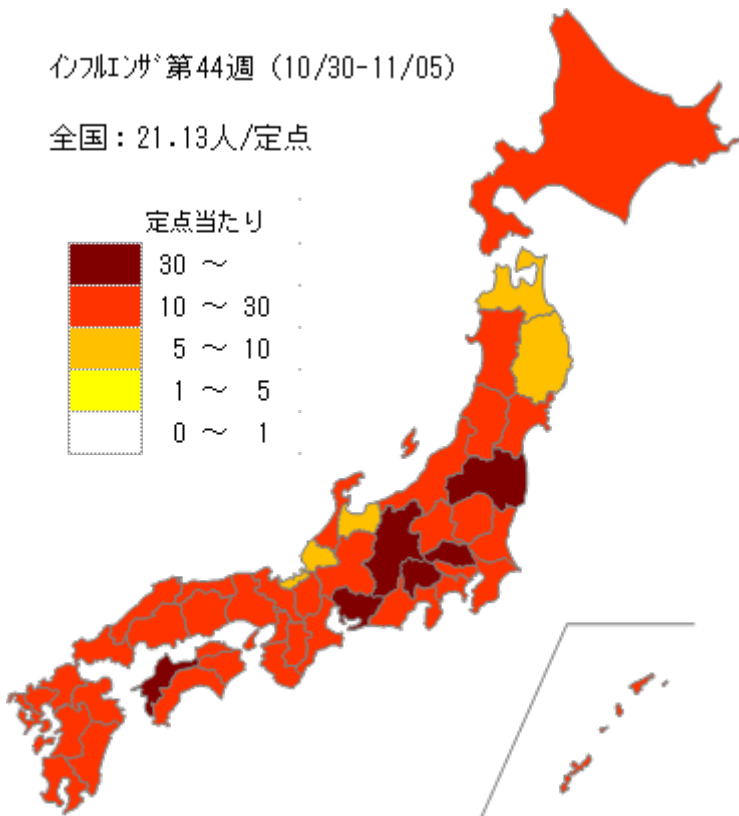
● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 44 週 (10/30~11/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 21.13 人となり、前週の 19.68 人より増加しました。

37 道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ 第44週 (10/30-11/05)

全国：21.13人/定点



都道府県	人/定点		都道府県	人/定点	
北海道	24.68	↑	滋賀県	13.65	↑
青森県	7.72	↓	京都府	16.51	↑
岩手県	9.51	↑	大阪府	13.27	↑
宮城県	20.14	↑	兵庫県	23.73	↓
秋田県	14.94	↓	奈良県	13.15	↑
山形県	11.93	↑	和歌山県	14.41	↑
福島県	32.66	↑	鳥取県	28.38	↑
茨城県	21.78	↑	島根県	16.87	↑
栃木県	19.14	↑	岡山県	20.04	↑
群馬県	19.01	↑	広島県	17.92	↑
埼玉県	34.84	↑	山口県	19.81	↓
千葉県	28.78	↓	徳島県	18.97	↑
東京都	16.99	↓	香川県	23.04	↑
神奈川県	18.32	↓	愛媛県	30.62	↓
新潟県	14.24	↑	高知県	27.80	↑
富山県	8.54	↑	福岡県	22.29	↑
石川県	10.98	↑	佐賀県	28.59	↑
福井県	6.74	↑	長崎県	16.99	↓
山梨県	39.63	↑	熊本県	19.48	↑
長野県	32.89	↑	大分県	25.74	↑
岐阜県	24.49	↑	宮崎県	12.67	↑
静岡県	23.30	↑	鹿児島県	17.57	↑
愛知県	34.62	↑	沖縄県	13.65	↓
三重県	18.79	↑	全国	21.13	↑

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年10月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		10月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			3		5	8		5	24		82	111
				1.00		1.25	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			8	9	1	8	2	4	47	62
			1.00			2.00	0.90						
尖圭コンジローマ					1	1	2			4	9	7	20
					1.00	0.25	0.20						
淋菌感染症			1		2	3	1	1	3			22	27
			0.33		0.50	0.30							
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	1	2		8	16	24	11	16	7	118	176
		5.00	1.00	2.00		8.00	3.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			3		2	5			6		11	17
				3.00		2.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。